

「見える化共通入力フォーマット」のお知らせ 2022年12月

- 年1回は運行日を確認しましょう
 - 年末年始の運休期間の見直し
 - 運行日シート 来年2022年分の運休・特別運行期間の登録・見直し
 - 祝日シート 来年2022年分の登録

- **GTFS-JPデータの有効期限を確認しましょう**

- 見える化メニューシートの「提供終了日」もしくはGTFS-JPデータ feed_info.txtの feed_end_dateを確認
- 期限が間近な場合は、提供終了日を延長してGTFS-JPデータを再作成してください

10)『GTFS-JP』データを作成する場合

9で作成した運賃入力ファイルが必要です。
このボタンを押すと、GTFS-JPデータが作成されます。

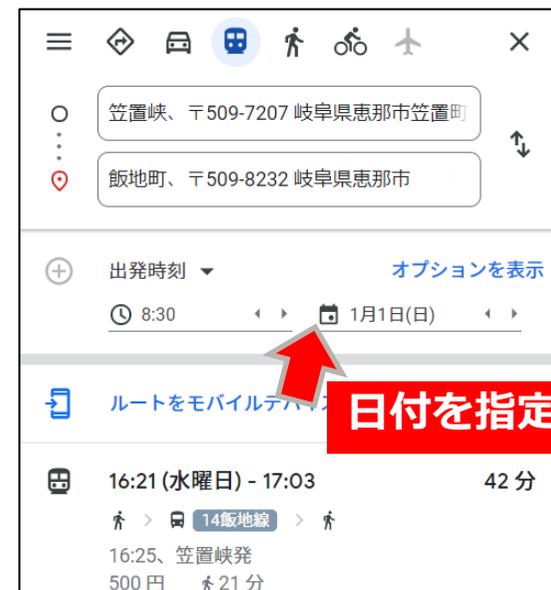
GTFS-JPデータを作成(系統統合形式)

提供終了日 指定しない場合は1年間となります

データの修正を行いましたら、GTFS-JPデータを作成し、Googleへのデータアップロードやオープンデータの差し替えを行ってください

Googleマップにて 年末・年始の日付で経路検索してみてください運休期間が正しく反映されているか確認してみてください (右図参照)

年始(1/1や1/4など)にダイヤ改正がある場合に、Googleマップに正しく運休が反映されないケースが見受けられます。その場合はご相談ください



「便が表示されない」か、「年始の最初の運行曜日にて便が表示」されればOK